

WALKING MAP



酒匂川水系ダム管理事務所・三保ダム管理事務所
神奈川県足柄上郡山北町神尾田734
TEL 0465-78-3711
HP <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2b/index.html>



三保ダム の 歩き方



三保ダムのなりたち

酒匂川は、その源を富士山麓の御殿場市に発する鮎沢川と、西丹沢山地から流れ出る河内川が山北町川西地点で合流し、相模湾にそそぐ幹線流路延長4.6km、流域面積5.82km²の二級河川です。

このダムは、洪水調節・水道用水・発電などのため昭和53年に神奈川県・神奈川県内広域水道企業団・東京発電株式会社が共同でつくりました。

ダムを造るために水没した地域もあり、多くの人たちが新しい場所に移住しました。

三保ダムによってできた貯水池は「丹沢湖」と命名されました。

三保ダムの美しさ

三保ダムの型式は土質しゃ水型ロックフィルダムと呼ばれ、土と岩石を積み上げて造られました。

また、地震に対する安全性確保などからダムの斜面（のり面）は緩やかな設計で、斜面には植生が繁茂しており遠目から見ると丘陵を思わせるような美しい見た目となっております。

丹沢湖やダムの周辺では四季折々の表情が楽しめます。

三保ダム周辺の見どころ

三保ダム周辺の見どころを紹介します。

写真の番号は裏表紙の地図上で場所が分かります。三保ダムの周りでは多くの花木を見ることができます。

丹沢湖自体もかながわの景勝50選、ダム湖百選に選ばれており、見ごたえのあるダム湖です。



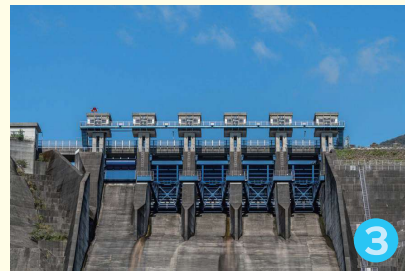
丹沢湖では四季折々の景色が楽しめます。特に春の桜と秋の紅葉は見ものです。



ダムの上部にあたる天端道路と呼ばれる道です。左右に美しい景色を見ることができます。



天端道路の展望台では地元の小中学生の声で説明を聞くことができます。ここからの景色はダムの高さを実感でき、非常に見ごたえがあります。



大雨によって水量が増えたときは全部で5門ある洪水吐ゲートから放流を行います。



ダム広場にあるミニチュアの三保ダムです。三保ダムだけでなく丹沢湖や橋まで再現されています。



昭和54年度に土木学会田中賞を受賞し、かながわの橋100選にも選ばれている松ヶ山橋です。ダム管理用のコンクリート橋で、わが国初めての建設技法が使われたPC斜張橋として知られ、建設技術発展の一里家になりました。



丹沢湖記念館の隣にある三保の家はダム建設の際に水没する地区にあった江戸時代末期の民家を移転復元したもので、水没前の風景の写真なども展示しています。かながわの建築物100選にも選ばれており、無料で見学することができます。



丹沢湖記念館は丹沢湖誕生を記念して建てられた多目的施設で、丹沢の特産品の物販のほかにも、三保ダム建設当時の写真や模型があります。屋上は展望台になっています。



丹沢湖にかかるシンボルの永蔵橋です。かながわの橋100選に選ばれており、多くの観光客に親しまれています。橋の上は県道76号が通っています。

ダムの役割

洪水調節

ダムに流れ込む水をそのまま流すのではなく、川周辺の住民を守るため、ダムで水の量を調整しながら放流します。

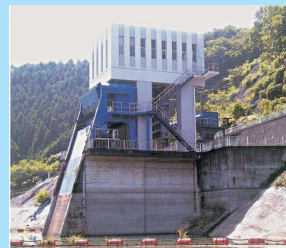
台風などの大雨が降る洪水期間（6月15日～10月15日）は貯水池水位を満水位（標高321.5m）から4.7m下げ、洪水調整を行っています。



水道用水の確保

ダムに貯められた水は、6か所の発電所を通り、農業用水として利用されながら下流に流れていきます。

小田原市にある飯泉水取水で取水され、浄水場できれいな水となり、家庭などに届けられます。



発電

ダムの常用放流設備から流す水の力を利用し、最大7,400kw（およそ11,900戸の家庭分）を田ノ入発電所で発電します。

